

体育館の防音対策例（残響時間調整）

対象建物（室容積 14,000 m³）は、体育館としての使用の他にコンサート会場、講演会場等にも使用されている、このため、体育館のみの使用では、あまり問題にならない残響時間（音の響き）調整が必要となった。

当社は、建物の図面を入手後、残響時間を計算し、さらに、当社吸音材を使用した改良提案を行い、コンサート会場、講演会場に使用可能なように室内音場の改善した事例である。

目的

- ◇ 大規模体育館の室内音響環境の改良。
- ◇ 講演で使用時の聞き易さの改良。
- ◇ 声援の騒がしさ防止。



対策概要

- ◇ イーディケル B パネルを天井部に 1010 m²施工。
- ◇ 施工方法；イーディケル B パネルを天井部のモヤを利用し施工。（タッピングビス使用）
- ◇ 施工条件；背後空気層を 100mm。



効果

- ◇ 施工前には約 3 秒（500Hz 帯）であった残響時間が施工後は理想の 1.5 秒に改良。
- ◇ 講演が聞き取りやすくなった。
- ◇ 体育館外への騒音の漏れが減少した。

